

わくわく倶楽部

江口グループ

第228号

令和8年7月発行



危険を見つけるその一歩が、 無事故につながる大きな一歩に

江口グループ 代表取締役社長 江口 充

いつも江口グループわくわく倶楽部ニュースターを読んでいただきありがとうございます。7月1日より、全国安全週間が始まります。建設業に携わる私たちにとって、「安全第一」は特別な期間だけ意識するものではありません。毎日の仕事の中で、何よりも大切にしなければならない基本です。道路、河川、橋、上下水道、造成工事など、私たち江口組の仕事は地域の暮らしと深くつながっています。工事を進めるうえで、品質や工期を守ることはもちろん大切です。しかし、それ以上に大切なのが、現場で働く社員や協力会社の皆さん、そして地域の皆さまの安全を守ることです。どれだけ立派な工事をして、事故が起きてしまえば、本当によい仕事とは言えません。現場で働く人が無事に家へ帰ること。地域の方が安心して暮らせること。お客様に安心して工事を任せただけのこと。そのすべての土台にあるのが、安全です。

江口グループでは、令和8年度の安全スローガンを「危険を見つけるその一歩 無事故につながる大きな一歩」としました。このスローガンは、社員からの公募によって決まったものです。私はこの言葉に、江口組らしい安全への思いが込められていると感じています。事故を防ぐためには、特別なことだけが必要なのではありません。現場で「あれ、少し危ないかもしれない」と気づくこと。その小さな違和感を見逃さないこと。そして、気づいたことを仲間に伝えること。その一歩一歩が、無事故につながる大きな力になります。江口組では、安全に対する取り組みとして、現場での安全パトロール、安全教育、交通安全への注意喚起、事故やヒヤリハットの情報共有などを行っています。特に大切にしているのは、何かが起きたときに「誰が悪いか」を探すのではなく、「同じことを二度と起こさないために、みんなでどう改善するか」を考えることです。軽微な事故やヒヤリハットも、決して小さなこととして流してはいけません。小さな気づきや報告の積み重ねが、大きな事故を防ぎます。そのために、江口グループでは「報告したら叱られる」のではなく、「報告し

てくれてありがとう」と言える文化をつくっていきたいと考えています。安全は、ルールや仕組みだけで守れるものではありません。日々の声かけ、確認、相談、そして仲間を気づかう気持ちがあってこそ守られます。現場で働く一人ひとりが、自分の命を守り、仲間の命を守り、家族の安心を守る。その意識を持ち続けることが大切です。

また、私たちは「安全第一」と同じくらい、「健康第一」も大切にしています。安全な現場をつくるためには、働く人自身が健康であることが欠かせません。体調がすぐれないまま現場に出ること、疲れがたまった状態で車を運転すること、暑さや寒さを我慢しすぎる。そうしたことも、事故やケガにつながる原因になります。江口グループでは、健康経営にも取り組み、社員が心身ともに元気に働ける環境づくりを進めています。日々の健康管理や熱中症対策、働きやすい職場づくりを通じて、社員一人ひとりが安心して力を発揮できる会社でありたいと考えています。

建設業は、地域の暮らしを支える仕事です。道路を直すことも、川を守ることも、災害に備えることも、地域の安心につながっています。だからこそ、その仕事を担う私たち自身が、まず安全でなければなりません。全国安全週間をきっかけに、江口組として改めて安全への意識を高めていきます。そして、地域の皆さま、お客様に安心していただけるよう、これからも安全第一・健康第一で、誠実に仕事に取り組んでまいります。「危険を見つけるその一歩 無事故につながる大きな一歩」この言葉を胸に、社員、協力会社の皆さんとともに、事故のない、安心できる現場づくりを進めていきます。



江口グループ現場だより

土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^ ^)/



木場潟公園のあの花壇、 誰が管理しているか知っていますか？

5月19日(火)、若手社員たちで木場潟公園南園地にあるスマイル花壇の花植えを行いました。

スマイル花壇は、公園を訪れる方々に少しでも笑顔になっていただきたいという思いを込めて、毎年2回、若手社員たちが花植えを行っている花壇です。今回も色とりどりの花を用意し、メンバー同士で相談しながら配置や色のバランスを考えて植えていきました。

花を植える前の花壇は少し寂しい印象でしたが、作業が進むにつれて少しずつ華やかな雰囲気に変化していきます。「この色の組み合わせがきれい」「ここに植えたら目立つかも」といった会話も弾み、楽しみながら作業を進めることができました。

完成した花壇には色鮮やかな花が並び、木場潟の自然豊かな景色とも調和した、明るく魅力的な空間となりました。花壇を見る人が少しでも笑顔になったり、季節の移り変わりを感じたりするきっかけになれば嬉しく思います。

今後も水やりや除草などのお手入れを行いながら、きれ

いな花壇を維持していきます。木場潟公園南園地へお越しの際は、ぜひスマイル花壇に足を運んでみて下さい♪



若手社員みんなで協力して作業！



場所は木場潟公園の南園地にある管理事務所のすぐ近く！
ぜひ見に行ってみて下さい！

たくさんの人に 親しまれる場所になりますように!!

皆さんこんにちは。広報部のきゅうだです。
 5月26日に年に2回、開催されている小松能美建設業協会主催のアドプト活動に参加し、花植えを行いました！

アドプト活動とは、道路や公園などを地域の皆さんや企業が協力して清掃や花植えを行い、地域に親しまれる場所にしていくボランティア活動です。

今回は近隣の幼稚園児たちと一緒に、ピンク・赤・白の日々草を植えました。園児たちは元気いっぱい花を植え、「できた!」と笑顔を見せてくれました。私たちもその姿に元気をもらいながら作業を進めました。

普段は工事を通して地域の暮らしを支えています。このような地域貢献活動にも積極的に参加しています。植えた花は小松空港軽海線の細工町～お宮町交差点の道路沿いにあります。近くを通った際は、ぜひご覧ください♪



園児たちと楽しくお話しながら花植えができました！



新入社員の子が率先して動いてくれました！

非日常から生まれた和の力 ～江口グループ社員旅行～

皆さんこんにちは。広報部のきゅうだです。
 5月29日・30日の2日間、社員旅行で福岡・下関を訪れました！旅行では歴史と文化を感じられるスポットとして、九州国立博物館や太宰府天満宮を見学。日本の歴史や文化に触れながら、非日常を体験することが出来ました。

また、社員旅行の魅力は観光ではありません。移動中や食事の時間には笑い声が絶えず、普段は接点の少ない部署や現場で働く仲間同士が交流を深める貴重な機会となりました♪

仕事ではなかなか話す機会のない社員同士



笑顔溢れる時間となりました！



社員みんなで福岡・下関を満喫できました！

がコミュニケーションを取り、お互いのことを知ることで新たなつながりや信頼関係が生まれた2日間！

江口組が大切にしているのは、人と人のつながりから生まれる「和の力」です。今回の社員旅行で深まった絆を大切にしながら、これからもチームワークを活かし、地域の皆さんに安心と信頼を届けられる仕事に取り組んでいきます！

クリエイション江口 環境部 ▶▶▶ 「水を使えない現場で、助かる理由」

皆さんこんにちは。クリエイション江口の村上です。
 現場でよくあるのが、「綺麗にしたいけど、水は使えない」という悩みです。

電気まわりの設備や機械の内部、乾燥に時間をかけられない現場。汚れは気になっているのに、簡単には手を出せない。そんな場面を、私はこれまで何度も見ました。

実際に「水をかけたら壊れる」「乾くまで待てない」そう言われて、清掃自体をあきらめていた現場もあります。

ドライアイス洗浄は、水を使わずに汚れを落とせるので、そういう現場で“やっと手が届く”ようになります。しかも、洗浄後に乾燥を待つ必要がない。これだけで、現場の負担は

大きく変わります。

以前、「これならすぐ使えるな」と言っていたことがあります。その一言で、空気がふっと軽くなるのを感じました。

汚れが落ちることも大事ですが、**現場が止まらないこと、安心して使えること**。そこに、本当の価値があると思っています。

今回は、「削らない洗浄」がなぜ設備を守るのかをお



BEFORE



AFTER



スタッフ通信

前号に続きスタッフ通信のお題は「子どもの頃、好きだった給食のメニュー」。子どもの頃好きだった給食。大人になってふと思い出す時はありませんか？懐かしい味を社員の皆さんに思い出してもらいました！読者の方もぜひアンケートで教えてください。♪

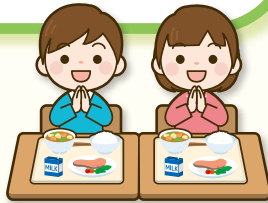


広報部
久田 莉奈

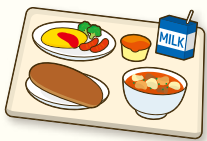
76-70



いただきます



「みそラーメン」が
好きでした。
ずいぶん冷めたずいぶん温めた
みそラーメンがおいしかった



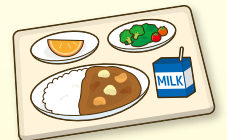
クリエイション江口
村上 昌洋



給食で一番好きだったのが「エビ・煮」
甘辛く煮込まれた大豆が本当に美味くて、
その日が楽しいでした。
懐かしい味の記憶って、おし残るのですね。



工事部
酒井 基樹



ご意見・ご感想など、
同封のアンケートハガキ
または、右記のQRコードより
ぜひお聞かせください!!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)
eguchigumi@eguchi-group.co.jp